

平成30年度 事業年報



©鳥取県



日本赤十字社

鳥取県赤十字血液センター



もくじ

鳥取県赤十字血液センター 平成30年度 事業年報

ごあいさつ	1
血液センター・出張所の立地条件及び配置図	2
鳥取県赤十字血液センターの施設概要	3
事業概要	4
鳥取県赤十字血液センターの組織図	5

献血

1. 血液事業のながれ	6
2. 年度別献血者数	7
3. 献血協力者状況	8
4. 平成30年度 施設別・月別献血状況	9
5. 年齢別・性別献血状況	10
6. 職業別・性別献血状況	11
7. 平成30年度 市町村別(200mL・400mL)献血者数	12
8. 大学・高等学校等別献血状況	13
9. 献血キャンペーン実施状況	14
10. セミナー実施状況	15
11. 献血推進団体協力状況	17
12. 骨髄ドナー登録業務	18

製造・供給

13. 輸血用血液供給状況(県内供給)	19
14. 年度別血液製剤供給状況	20
15. 平成30年度 輸血用血液製剤の月別供給状況(県内医療機関)	20
16. 平成30年度 地域別血液製剤供給状況(県内供給)	20
17. 血液のゆくえ	21
18. 輸血用血液製剤一覧表	22
19. 血液型について	23
20. 学術活動	24

その他

21. 鳥取県赤十字血液センターの沿革	25
22. 平成30年度 献血協力団体・献血協力者数一覧	27
23. 献血推進功労団体等に対する感謝状贈呈	32

〈表紙の写真〉

「麒麟獅子舞(聖神社麒麟獅子舞)」

麒麟とは、中国の想像上の動物で古来より他の生き物を傷つけない泰平の世の象徴とされた霊獣です。麒麟獅子舞は、人々に幸福をもたらす芸能として因幡・但馬の地域に愛されており、春と秋に行われる神社での例祭を中心に、ほぼ1年を通じて舞われています。平成21年3月に鳥取県の無形民俗文化財に指定され令和元年5月には日本遺産に認定されました。

ごあいさつ

鳥取県赤十字血液センターに勤務させていただいて2年目の日々を過ごしております。血液センターは、多くの皆様方がご存知の通り平成24年4月より広域事業運営体制となり、広域需給管理や資金の中四国ブロックセンター内一元管理を続けて今に至っております。したがって、所長・事業部長のみならず課長・係長以下多くの職員が本社血液事業本部(東京)や中四国ブロック血液センター(広島)にて会議や研修会に参加し、Web会議も頻回に行われているのが現状です。この広域体制により業務や資金のムダを減らし、血液事業が継続可能な方向へ進むように努力を続けております。

日々の業務におきましては、献血をしてくださる皆様、献血推進団体の皆様方に多大なるご協力・ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。おかげをもちまして鳥取県の血液事業は円滑に進んでおります。

このたびできました平成30年度の事業年報をお届けいたします。昨年度も21,736名の皆様に献血いただき、血液を必要とされる多くの患者様を救うことができました。

昨年度、それまでと変わった出来事といえば、鳥取県中部地区の血液製剤供給体制の見直し(備蓄医療機関の仕組みの取りやめとその後の体制)があげられます。それまでは地域医療・遠隔地医療の観点から、本来の保管・管理場所ではない医療機関内に血液製剤を備蓄させていただき、緊急時等にその医療機関や近隣の医療機関で使用していた体制ですが、昨年厚生労働省や血液事業本部の指導があり直接配送体制に改めることになりました。

今後も社会状況の変化に伴い事業運営体制の細部が変化することはありうるかもしれませんが、血液を必要とされる患者様の命を献血によって得られた血液製剤で救っていくことに変わりはないと思います。今後も血液事業に更なるご支援・ご協力のほど何卒宜しく願い申し上げます。

令和元年10月



鳥取県赤十字血液センター
所長 縄田 隆浩



血液センター・出張所の立地条件及び配置図

■立地条件

面積：3,507平方メートル

北を日本海、南を中国山地に挟まれた東西約130km、南北約60km。

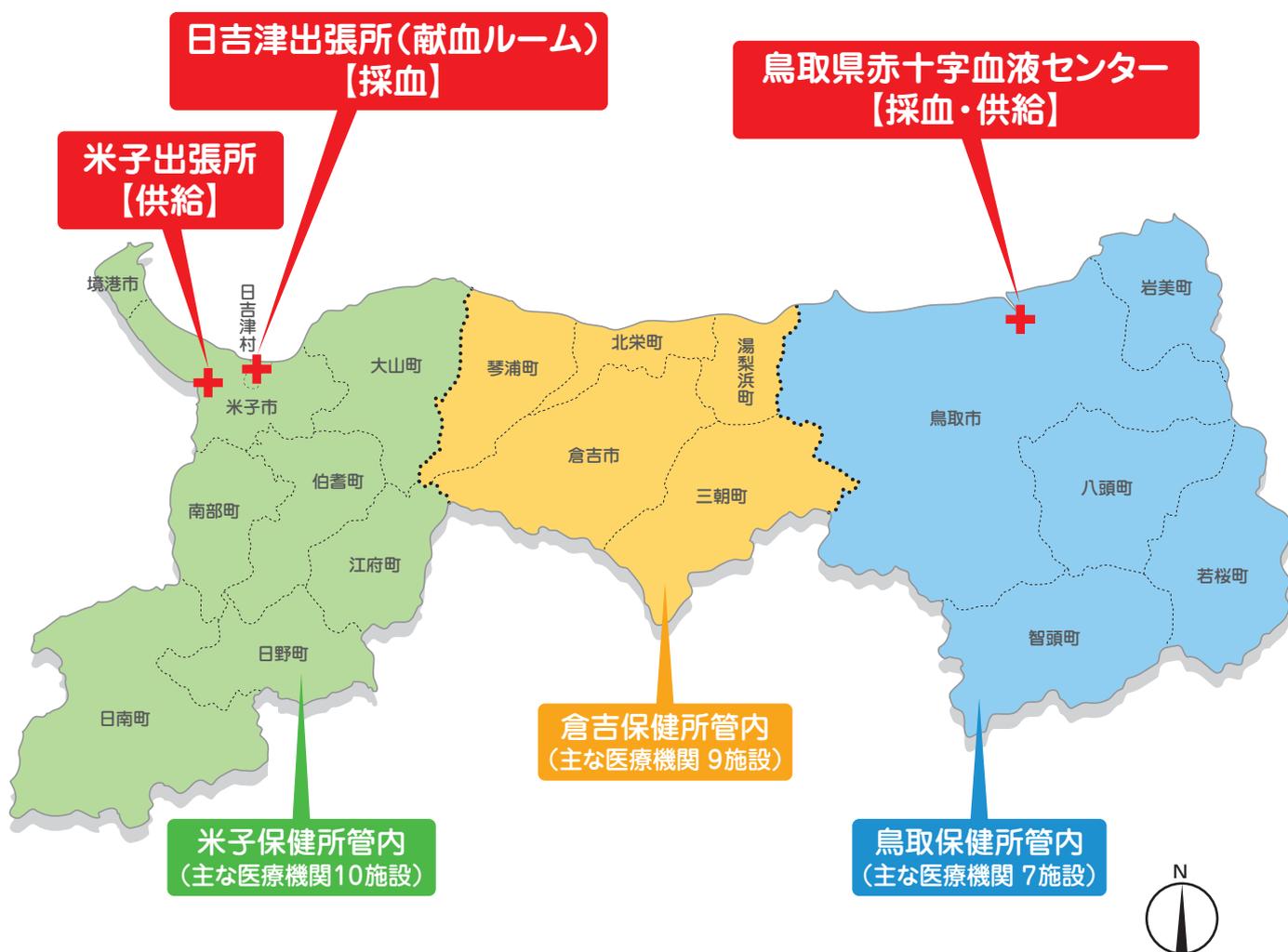
人口：約56万人(東部・中部・西部の3地区に区分)

県庁所在地である東部(人口約22.6万人)

中部(人口約10.1万人)

西部(人口約23.2万人)

高齢化率：32.2%(中山間地域等は50%以上となり、高齢化がさらに進行。)



車 両	移動採血車	2台(母体1台、日吉津出張所1台)
	送 迎 車	3台(母体2台、日吉津出張所1台)
	機材・運搬車	3台(母体1台、米子出張所1台、日吉津出張所1台)
	献血運搬車	5台(母体3台、米子出張所2台)
	乗 用 車	2台(母体)



移動採血車(全血献血のみ)

鳥取県赤十字血液センターの施設概要



■建物の概要

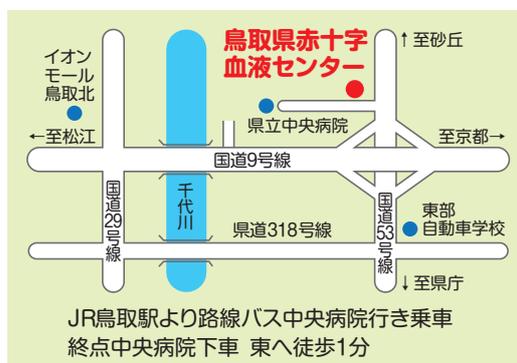
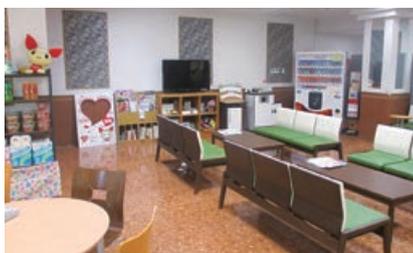
所在地 〒680-0901 鳥取県鳥取市江津370-1
 建物 昭和55年10月17日起工
 昭和56年 3月25日竣工

敷地面積	4,130.43㎡ 鳥取県から無償借受	
建物の構造 及び規模	本館	鉄筋コンクリート2階建
	1階	590.86㎡
	2階	551.31㎡
	塔屋	56.36㎡
	計	1,198.53㎡
	車庫	鉄骨造 平屋建
		397.50㎡
建築延面積	1,449.53㎡	

鳥取県赤十字血液センター

〒680-0901 鳥取市江津370-1
 TEL (0857) 24-8101

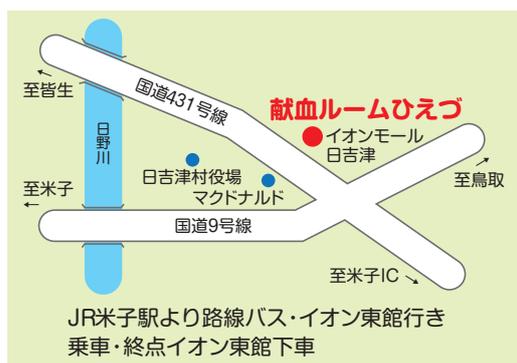
【受付】 毎週／月曜・火曜・水曜・金曜・日曜日
 但し、月・火曜日が祝祭日の場合は、休みとなります。
 9:00～16:45 (成分献血は16:00まで)



鳥取県赤十字血液センター日吉津出張所 献血ルームひえづ

〒689-3553 西伯郡日吉津村日吉津1160-1
 イオンモール日吉津東館1F
 TEL (0859) 27-1724

【受付】 毎週／火曜・木曜・土曜・日曜日
 及び曜日に関係なく20日・30日
 9:30～13:30、14:30～17:00
 (成分献血は16:00まで)





事業概要

日本赤十字社の血液事業に係る基本方針に則り、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」等の関係法令を遵守し、採血事業者及び医薬品販売業者としての責務である血液製剤の安全性の確保・向上及び安定供給の確保を行い、適切な事業運営に努めました。

1 基本方針

鳥取県赤十字血液センターは、日本赤十字社が実施している広域的な血液事業の運営体制の中で、中四国ブロック血液センターの地域センターとして、献血推進業務、採血業務、供給業務を担っています。当センターとしては、中四国ブロック血液センターの基本方針に基づいた将来的な献血者確保対策に重点を置き、県・市町村及び献血推進団体と連携を図り、広く県民に献血への理解と協力を求めながら、血液製剤の安定的な確保に努めました。

2 献血推進

夏季・冬季の血液が不足する時期には、サマー、クリスマス、年末年始、バレンタインなどのキャンペーンを実施し、献血者確保の強化を図りました。また、ガイナール鳥取とのコラボキャンペーンとして、選手に献血推進アンバサダーを委嘱し、とりぎんバードスタジアムで献血PR、及び献血の受入れを行い、広く県民への周知を図りました。

若年層献血者確保対策に重点を置き、県下全ての大学で献血セミナーを開催し学内献血を実施したほか、大学生が講師となって行う献血セミナーを実施するなど、若者から若者へと献血が広がるよう推進強化に努めました。高等学校においては、出前講座等を年間通じて開催するなどアプローチ強化に努め、10代の献血者を883人確保することができました。

平成30年10月には、献血推進・予約システムを新たに導入し、会員専用Webサイトが使いやすくなったことに併せて、血液検査結果の早期確認、ポイント制の導入等、会員へのサービスの向上を図るよう複数回献血者クラブの内容を充実させました。平成31年3月末の登録者数は、4,738人となっています。

3 献血実績

平成30年度年間献血者数は21,736人であり、その内訳は200mL献血者数83人、400mL献血者数15,714人、成分献血者数5,939人（血小板献血者数4,096人、血漿献血者数1,843人）でした。

医療需要に合わせたブロック内の輸血用血液製剤の需給計画に基づき、需給計画委員会及び献血推進担当者会議において安定的かつ効率的な採血計画を検討し、献血者の確保に努めました。

4 輸血用血液製剤の供給

輸血用血液製剤の安定供給を図るため、需給計画委員会を毎月開催し、短期・中期需給予測の策定と当血液センターの在庫状況に合わせて採血計画の柔軟な調整を行いました。

また、期限切れを防止して有効利用に努めるとともに、突発的な在庫不足が生じた場合には広域的な需給調整（県外からの受入れ）により安定的な供給を図りました。

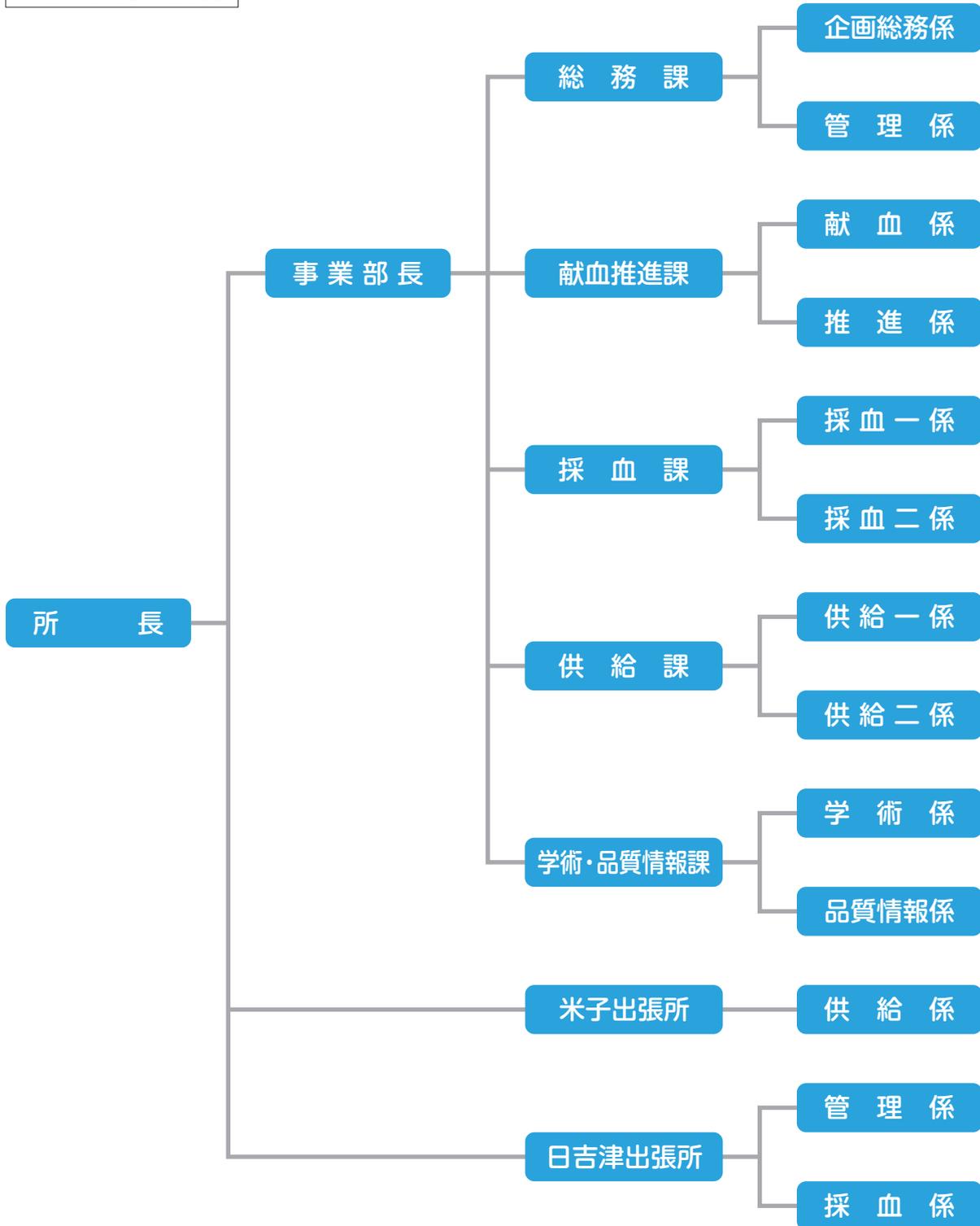
5 施設整備等

老朽化していた献血運搬車2台の更新を行ったほか、篤志による用途指定寄付金を充当し送迎車の更新を行いました。

また、老朽化していた供給作業室等の空調設備を更新したほか、女子更衣室の空調整備を行い、施設環境の改善を図りました。

鳥取県赤十字血液センターの組織図

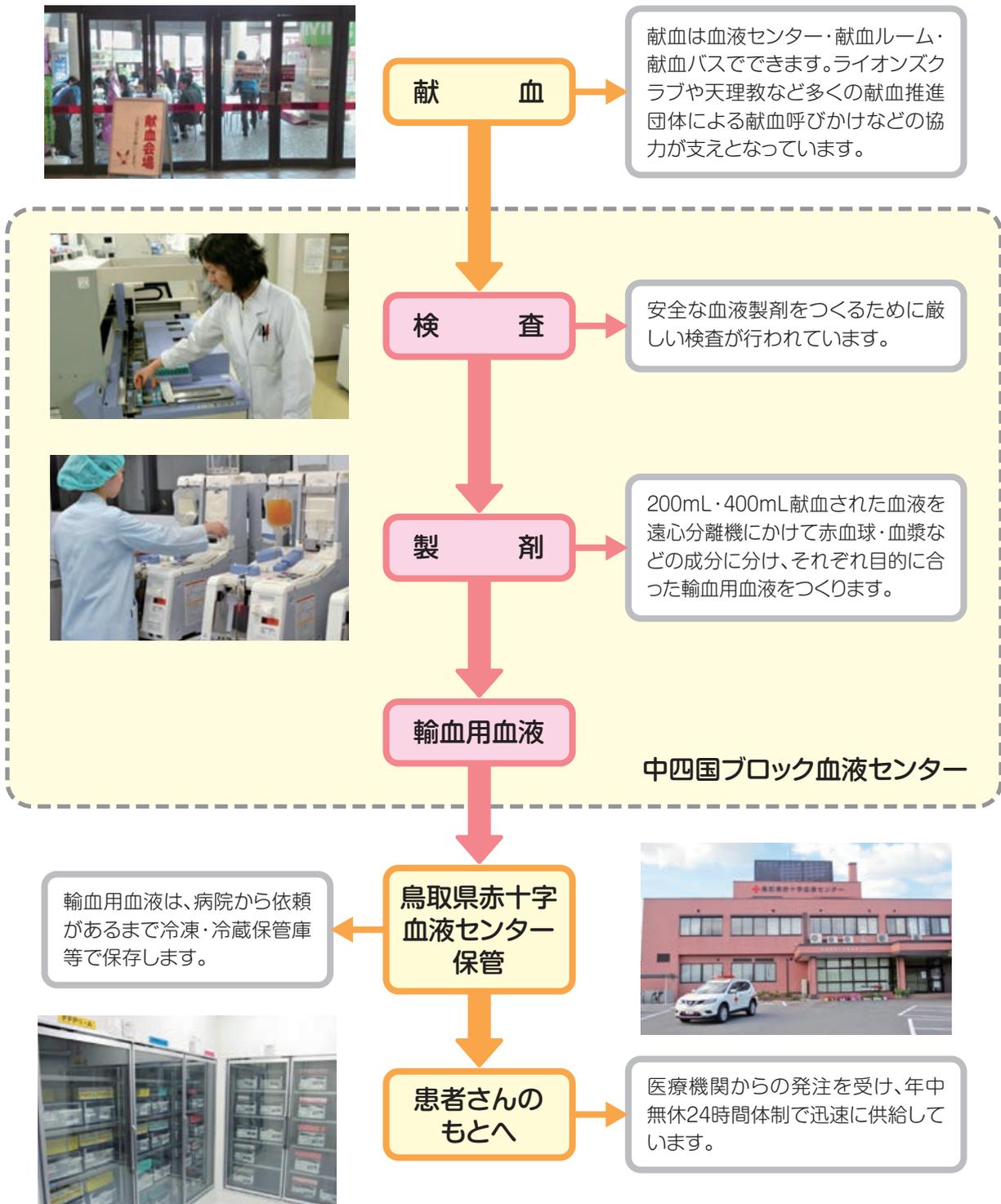
平成31年3月31日現在



1. 血液事業のながれ

善意の献血で得られた血液は、厳しい検査をはじめいくつもの行程を経て輸血用血液として生まれ変わります。

私たちは、人命尊重のためにこの安全性の高い輸血用血液を医療機関に安定供給することを心がけ、24時間体制で医療を支えています。

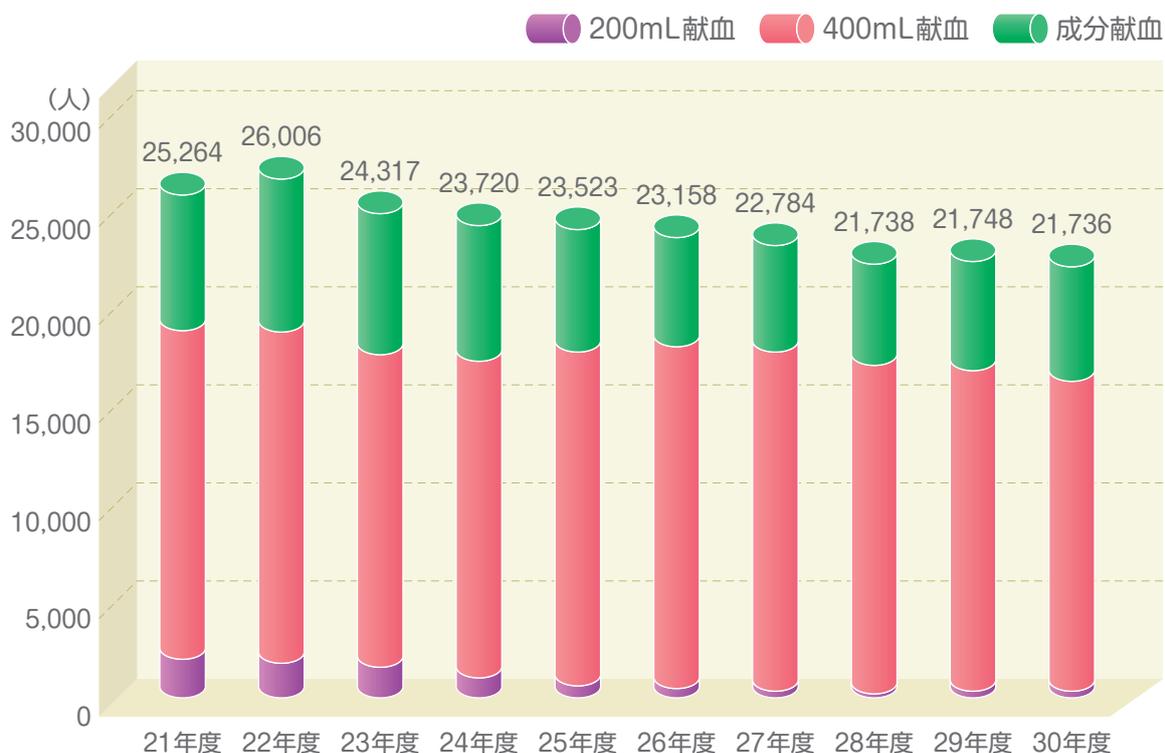


2. 年度別献血者数

単位：人

年 度	200mL献血	献血比率 (%)	400mL献血	献血比率 (%)	成分献血	献血比率 (%)	合 計
平成21年度	1,991	7.9	16,421	65.0	6,852	27.1	25,264
平成22年度	1,661	6.4	16,456	63.3	7,889	30.3	26,006
平成23年度	1,591	6.5	15,662	64.4	7,064	29.0	24,317
平成24年度	954	4.0	15,928	67.2	6,838	28.8	23,720
平成25年度	481	2.0	16,859	71.7	6,183	26.3	23,523
平成26年度	138	0.6	17,542	75.7	5,478	23.7	23,158
平成27年度	121	0.5	17,266	75.8	5,397	23.7	22,784
平成28年度	60	0.3	16,683	76.7	4,995	23.0	21,738
平成29年度	84	0.4	16,414	75.5	5,250	24.1	21,748
平成30年度	83	0.4	15,714	72.3	5,939	27.3	21,736

血液製剤の安全性の向上と安定的な供給を行うため、分割血小板採血装置による高単位採血に努めた結果、血小板採血をお願いさせていただき方の人数は減少、血漿採血をお願いさせていただき方の人数は増加し、その結果、成分献血協力人数が上昇しました。



PickUp 400mL献血・成分献血を推進しています。

3. 献血協力者状況

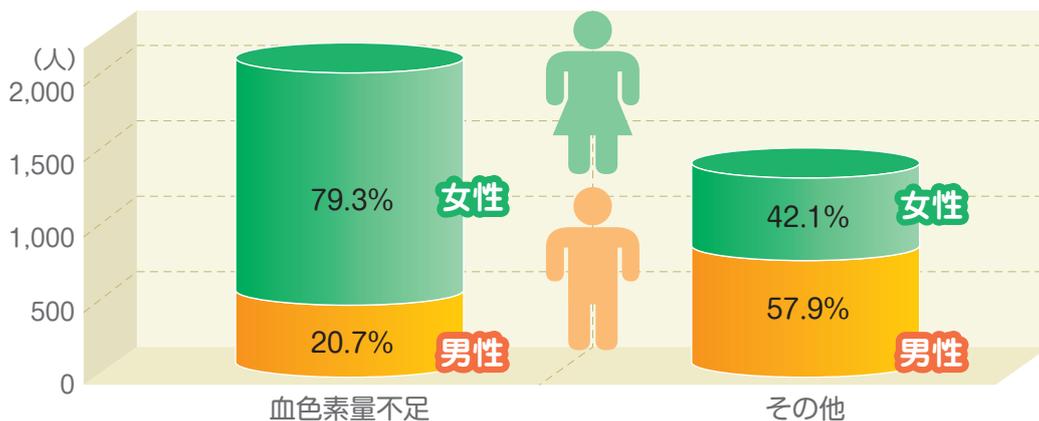
単位：人

	献血受付者数			献血できなかった方					献血者数				
	男	女	合計	血色素量不足	女性	男性	女性	合計	できなかった率(%)	男	女	合計	
平成26年度	19,021	7,611	26,632	353	1,566	913	642	3,474	13.0	17,755	5,403	23,158	
平成27年度	18,705	7,398	26,103	380	1,571	817	551	3,319	12.7	17,508	5,276	22,784	
平成28年度	18,075	6,837	24,912	373	1,543	788	470	3,174	12.7	16,914	4,824	21,738	
平成29年度	17,848	6,992	24,840	410	1,565	638	469	3,082	12.4	16,800	4,948	21,748	
平成30年度	4月	1,471	494	1,965	29	109	73	32	243	12.4	1,369	353	1,722
	5月	1,409	564	1,973	36	137	58	37	268	13.6	1,315	390	1,705
	6月	1,630	588	2,218	45	142	55	49	291	13.1	1,530	397	1,927
	7月	1,605	618	2,223	39	140	51	42	272	12.2	1,515	436	1,951
	8月	1,576	615	2,191	35	124	54	48	261	11.9	1,487	443	1,930
	9月	1,412	516	1,928	28	85	50	26	189	9.8	1,334	405	1,739
	10月	1,452	637	2,089	24	132	63	69	288	13.8	1,365	436	1,801
	11月	1,464	573	2,037	28	127	51	43	249	12.2	1,385	403	1,788
	12月	1,564	573	2,137	23	113	61	37	234	10.9	1,480	423	1,903
	1月	1,402	538	1,940	26	116	49	33	224	11.5	1,327	389	1,716
	2月	1,441	515	1,956	33	98	46	36	213	10.9	1,362	381	1,743
	3月	1,492	551	2,043	31	125	48	28	232	11.4	1,413	398	1,811
計	17,918	6,782	24,700	377	1,448	659	480	2,964	12.0	16,882	4,854	21,736	

県内の医療需要に見合った血液確保を行い、400mL献血と成分献血の推進強化に努めた結果、効率の良い採血となりました。

平成30年度の献血できなかった割合は前年度12.4%から12.0%に減少となりました。

平成30年度 献血が出来なかった方の男女の割合



4. 平成30年度 施設別・月別献血状況

(注)達成率 $\frac{4月\sim3月の実績}{目標人数}$

単位：200mL・400mL(人)、稼働数(台)

採血施設	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	目標数	達成率(%)	前年実績	前年比(%)
鳥取バス	200mL	0	0	0	0	0	1	7	3	0	0	0	0	11	0	-	0	-
	400mL	425	378	563	598	394	398	458	438	504	341	305	420	5,222	5,583	93.5	5,425	96.3
	計	425	378	563	598	394	399	465	441	504	341	305	420	5,233	5,583	93.7	5,425	96.5
	稼働数	9	9	11	13	9	10	11	11	11	8	8	11	121	114	106.1	117	103.4
米子バス	200mL	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	-	0	-
	400mL	217	174	301	203	363	303	289	348	265	285	364	212	3,324	3,847	86.4	3,662	90.8
	計	217	174	301	203	363	303	293	348	265	285	364	212	3,328	3,847	86.5	3,662	90.9
	稼働数	4	3	6	4	6	6	6	6	5	6	7	5	64	79	81.5	71	90.1
血液センター	200mL	6	3	2	3	5	1	0	2	0	3	3	8	36	35	102.9	62	58.1
	400mL	170	147	127	136	172	110	162	159	180	172	164	127	1,826	1,924	94.9	1,909	95.7
	成分	249	227	214	240	232	222	239	220	213	243	212	264	2,775	2,219	125.1	2,485	111.7
	計	425	377	343	379	409	333	401	381	393	418	379	399	4,637	4,178	111.0	4,456	104.1
	稼働数	22	22	21	22	22	19	22	21	20	20	19	22	252	252	100.0	248	101.6
ルーム	200mL	1	2	2	1	0	2	2	3	5	5	3	6	32	16	200.0	22	145.5
	400mL	394	510	442	469	513	435	403	370	490	421	432	463	5,342	4,500	118.7	5,418	98.6
	成分	260	264	276	301	251	267	237	245	246	246	260	311	3,164	1,480	213.8	2,765	114.4
	計	655	776	720	771	764	704	642	618	741	672	695	780	8,538	5,996	142.4	8,205	104.1
	稼働数	19	21	18	20	16	18	17	18	18	18	17	19	219	219	100.0	219	100.0
合計	200mL	7	5	4	4	5	4	13	8	5	8	6	14	83	51	162.7	84	98.8
	400mL	1,206	1,209	1,433	1,406	1,442	1,246	1,312	1,315	1,439	1,219	1,265	1,222	15,714	15,854	99.1	16,414	95.7
	成分	509	491	490	541	483	489	476	465	459	489	472	575	5,939	13,129	45.2	5,250	113.1
	計	1,722	1,705	1,927	1,951	1,930	1,739	1,801	1,788	1,903	1,716	1,743	1,811	21,736	10,367	209.7	21,748	99.9
	稼働数	54	55	56	59	53	53	56	56	54	52	51	57	656	506	129.6	655	100.2

初回献血者

単位：人

献血種類	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年実績	前年比(%)
初回献血者		124	132	103	140	119	78	110	136	118	92	111	95	1,358	1,542	88.1
200mL		5	3	2	3	4	3	11	6	4	6	3	11	61	45	135.6
400mL		119	129	101	137	115	75	99	130	114	86	108	84	1,297	1,497	86.6
成分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

冬場は献血者が減少します。
冬場の献血の協力をお願いします。

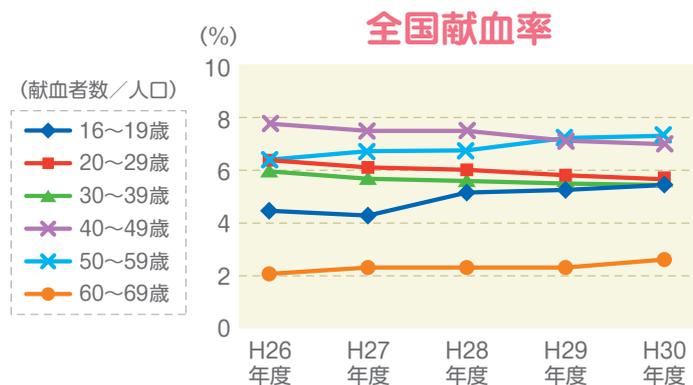
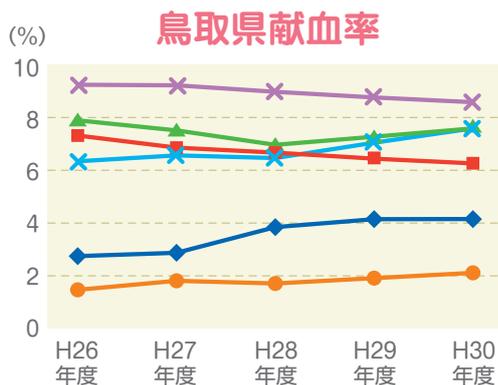


5. 年齢別・性別献血状況

単位：人

年齢	性別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	献血比率 (%)
16～19才	男	521	581	669	737	656	3.0
	女	256	236	174	180	227	1.0
	計	777	817	843	917	883	4.0
20～29才	男	2,971	2,778	2,594	2,412	2,272	10.4
	女	1,091	994	930	911	913	4.2
	計	4,062	3,772	3,524	3,323	3,185	14.6
30～39才	男	4,354	4,003	3,725	3,512	3,342	15.4
	女	1,252	1,163	982	1,012	911	4.2
	計	5,606	5,166	4,707	4,524	4,253	19.6
40～49才	男	5,153	5,101	5,073	5,059	5,058	23.3
	女	1,458	1,505	1,384	1,414	1,324	6.1
	計	6,611	6,606	6,457	6,473	6,382	29.4
50～59才	男	3,726	3,803	3,614	3,711	4,034	18.6
	女	1,064	1,074	1,056	1,150	1,160	5.3
	計	4,790	4,877	4,670	4,861	5,194	23.9
60～69才	男	1,030	1,242	1,239	1,369	1,520	7.0
	女	282	304	298	281	319	1.5
	計	1,312	1,546	1,537	1,650	1,839	8.5
合計	男	17,755	17,508	16,914	16,800	16,882	77.7
	女	5,403	5,276	4,824	4,948	4,854	22.3
	計	23,158	22,784	21,738	21,748	21,736	100.0

少子高齢化の進んでいる県であり、20代、30代の献血率は全国と同じく低下傾向にあり懸念されるところではありますが、10代の献血率の傾向としては、高校生、大学生のセミナーを開催し、献血への理解を求めた結果全国と同様に前年度を上回りました。また都会に比べ献血バスの配車割合が高いことにより、40代の献血率が全国平均より高いと思慮されます。



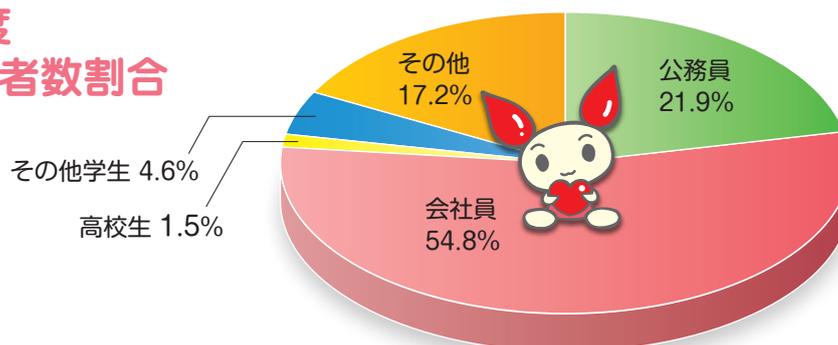
6. 職業別・性別献血状況

単位：人

職業別	性別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
公務員	男	4,248	4,210	4,148	4,157	4,117
	女	683	692	653	684	651
	計	4,931	4,902	4,801	4,841	4,768
会社員	男	10,398	10,146	9,781	9,562	9,678
	女	2,527	2,451	2,268	2,387	2,223
	計	12,925	12,597	12,049	11,949	11,901
高校生	男	138	177	183	250	226
	女	105	89	31	68	90
	計	243	266	214	318	316
その他学生	男	635	572	613	645	685
	女	314	298	297	256	319
	計	949	870	910	901	1,004
その他	男	2,336	2,403	2,189	2,186	2,176
	女	1,774	1,746	1,575	1,553	1,571
	計	4,110	4,149	3,764	3,739	3,747
合計	男	17,755	17,508	16,914	16,800	16,882
	女	5,403	5,276	4,824	4,948	4,854
	計	23,158	22,784	21,738	21,748	21,736

鳥取県では、将来にわたる安定的な供給を行うため若年層への推進強化に努めてきました。結果、高校生とその他学生の合計比率が昨年度より上昇しました。公務員については電話により平日の献血協力依頼を行っているため2番目に多くなっています。

平成30年度 職業別献血者数割合

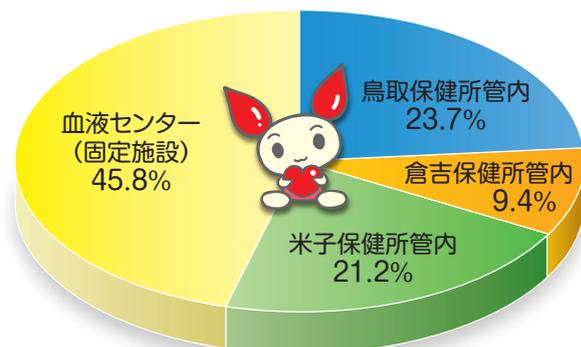


7. 平成30年度 市町村別(200mL・400mL)献血者数

単位：人

市町村別	受付数	200mL献血		400mL献血		採血計	
		目標数	採血数	目標数	採血数		
鳥 取	鳥取市	4,039	0	4	3,566	3,294	3,298
	岩美町	217	0	0	120	183	183
	八頭町	145	0	0	152	125	125
	若桜町	59	0	0	32	41	41
	智頭町	111	0	0	80	95	95
	計	4,571	0	4	3,950	3,738	3,742
倉 吉	倉吉市	1,144	0	7	1,050	928	935
	湯梨浜町	149	0	0	128	131	131
	三朝町	100	0	0	85	84	84
	琴浦町	247	0	0	229	209	209
	北栄町	166	0	0	141	132	132
	計	1,806	0	7	1,633	1,484	1,491
米 子	米子市	2,623	0	4	2,663	2,281	2,285
	境港市	557	0	0	540	481	481
	南部町	189	0	0	129	163	163
	伯耆町	90	0	0	120	77	77
	日吉津村	23	0	0	67	21	21
	大山町	209	0	0	187	181	181
	日南町	52	0	0	59	41	41
	日野町	46	0	0	45	37	37
	江府町	48	0	0	37	42	42
	計	3,837	0	4	3,847	3,324	3,328
小 計	10,214	0	15	9,430	8,546	8,561	
血液センター	8,213	51	68	6,424	7,168	7,236	
合 計	18,427	51	83	15,854	15,714	15,797	

各保健所・血液センター別 全血献血者数割合



8. 大学・高等学校等別献血状況

単位：人

学校名		平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	
大 短 期 大 学	鳥取大学	367	225	362	334	391	
	公立鳥取環境大学	116	106	160	174	152	
	鳥取短期大学	-	12	12	10	19	
	鳥取看護大学	-	12	6	11	9	
高専	米子工業高等専門学校	-	49	81	119	127	
各 種 学 校	鳥取看護高等専修学校	19	18	7	10	-	
	鳥取看護専門学校	-	-	9	-	-	
	鳥取県立歯科衛生専門学校	13	8	18	16	22	
	鳥取歯科技工専門学校	16	9	-	-	-	
	鳥取市医療看護専門学校	-	34	-	-	-	
	倉吉看護高等専修学校	-	17	-	-	-	
	鳥取県立倉吉総合看護専門学校	8	-	-	-	-	
	鳥取県立産業人材育成センター倉吉校	24	40	36	26	25	
	鳥取県立農業大学校	29	26	23	9	18	
	鳥取県立産業人材育成センター米子校	45	52	63	44	23	
	高 校	鳥取県立智頭農林高等学校	-	-	12	7	12
		鳥取県立米子東高等学校	33	17	-	-	-
		鳥取県立境港総合技術高等学校	-	-	30	-	-
鳥取県立倉吉農業高等学校		-	-	-	15	28	
米子北高等学校		62	46	39	42	44	
米子北斗高等学校		-	25	13	16	-	
米子松陰高等学校		-	-	16	25	16	
鳥取県立米子高等学校		-	16	-	-	16	
青翔開智高等学校		-	-	-	11	24	
鳥取城北高等学校	-	-	-	31	-		

愛の血液助け合い運動月間キャンペーンの一環として、7月に高校生ボランティアに血液の重要性について研修を実施し、街頭献血会場において、献血の呼びかけやリーフレット配布などの体験活動を行った。



1. 月間キャンペーン(イオンモール鳥取北)7.15
高校生ボランティア



2. 鳥取大学風紋祭
献血推進サークル白うさぎ 10.7

9. 献血キャンペーン実施状況

さまざまなキャンペーンを展開し、複数回にわたりご協力いただける献血者の確保に努めました。

- ◆**献血ご予約キャンペーン** (5/1 ~)
 - 献血にご協力された日に次回の予約をしていただいた方にけんけつちゃんグッズを配付
- ◆**REDFACTION in中四国** (6/14 ~ 6/24)
 - キャンペーンへの参加を申告し、献血・義援金・ボランティアにご協力いただいた方にBIOカードを配付
- ◆**「世界献血者デー」キャンペーン** (6/13 ~ 6/14)
 - 献血にご協力いただいた方に花(百日草)を配付
- ◆**はたらく細胞コラボキャンペーン** (6/30 ~ 7/7)
 - 献血にご協力いただいた方にアニメをご視聴いただけるシリアルコード付きイラストカードを配付
- ◆**中四国学生統一献血キャンペーン** (7/1 ~ 9/30)
 - 献血にご協力いただいた方にアイスタオルを配付
- ◆**お菓子プレゼントキャンペーン** (7/15 ~ 9/30)
 - 献血にご協力いただいた方、SNSをフォローしてくださった方にお菓子をプレゼント
- ◆**コミックマーケット94献血応援イベント** (8/10 ~ 9/30)
 - 400mL献血にご協力いただき、記念品を希望された方にポスターを配付
- ◆**ハロウィンキャンペーン**
 - 献血にご協力いただいた方にお菓子の詰め合わせを配付 (10/27 ~ 10/31)
 - 献血にご協力いただいた方にサイコロ目の数トイレトペーパーをプレゼント (10/28)
- ◆**全国学生クリスマス献血キャンペーン** (12/1 ~ 12/31)
 - 献血にご協力いただいた方に付箋・黒ボールペンセットを配付
- ◆**クリスマスキャンペーン** (12/23 ~ 12/25)
 - 献血にご協力いただいた方に生チョコレートを配付
- ◆**年末年始キャンペーン** (12/26 ~ 1/6)
 - 献血にご協力いただいた方に干支の置物を配付
- ◆**コミックマーケット95献血応援イベント** (12/29 ~ 1/31)
 - 400mL献血にご協力いただき、記念品を希望された方に、コミックマーケット限定ポスター 5枚組+カレンダーカードを配付
- ◆**はたちの献血キャンペーン** (1/1 ~ 2/28)
 - 献血にご協力いただいた10代・20代の方に乃木坂46オリジナルクリアファイルを配付
 - 複数回献血クラブに新規登録いただいた10代・20代の方に乃木坂46献血カードケースを配付
- ◆**REDFACTION in中四国** (1/10 ~ 1/20)
 - キャンペーンへの参加を申告し、献血・義援金・ボランティアにご協力いただいた方にけんけつちゃんBIOカードを配付
- ◆**10代×400mL献血キャンペーン** (2/1 ~ 3/31)
 - 期間中に献血受付していただいた10代の方にスマホスタンド&タッチペン配付
 - 献血にご協力いただいた方にくじ引き
- ◆**バレンタインキャンペーン** (2/9 ~ 2/14)
 - 献血にご協力いただいた方にチョコレートを配付
- ◆**ホワイトデーキャンペーン** (3/9 ~ 3/14)
 - 献血にご協力いただいた方にクッキーを配付



世界献血者デー



年末年始キャンペーン

10. セミナー実施状況

若年層を中心とした県民各層への献血の普及啓発として、施設見学を含めた献血セミナーを実施しました。

1) 小学生を対象としたセミナー

第15回けんけつおもしろセミナー

期日・場所：7月29日 鳥取県立倉吉未来中心(延べ2回)

8月 1日 イオンモール日吉津(延べ2回)

8月 4日、5日 鳥取県赤十字血液センター(延べ4回)

内容：血液の現状と必要性について(講義)、施設見学、
血液型判定視聴、緊急車両乗車体験

人数：231名(保護者を含む)



2) 中学生を対象としたセミナー

6月	ワクワク東中	2名	内容：学習、施設見学
	ワクワク北中	4名	内容：学習、施設見学
7月	ワクワク西中	2名	内容：学習、施設見学
8月	中ノ郷中学校	39名	内容：学習、施設見学



3) 高校生を対象としたセミナー

6月	県立米子高等学校	11名	内容：学習(血液事業)、呼びかけ体験
7月	私立青翔開智高等学校	20名	内容：学習(血液事業)
	県立境高等学校	600名	内容：学習(血液事業)
	県東部地区対象	30名	内容：学習(血液事業)、呼びかけ体験
	県西部地区対象	26名	内容：学習(血液事業)、呼びかけ体験
8月	県立米子南高等学校	60名	内容：学習(血液事業)
9月	私立米子北斗高等学校	53名	内容：学習(血液事業)
	県立境港総合技術高等学校	14名	内容：学習(血液事業)
10月	国立米子工業高等専門学校	10名	内容：学習(血液事業)
	県立米子西高等学校	320名	内容：学習(血液事業)
	県立倉吉農業高等学校	80名	内容：学習(血液事業)
11月	県立鳥取中央育英高等学校	150名	内容：学習(血液事業)
12月	私立米子松陰高等学校	620名	内容：学習(血液事業)
	県立鳥取工業高等学校	20名	内容：学習(血液事業)
1月	県立青谷高等学校	43名	内容：学習(血液事業)
3月	県立倉吉総合産業高等学校	150名	内容：学習(血液事業)

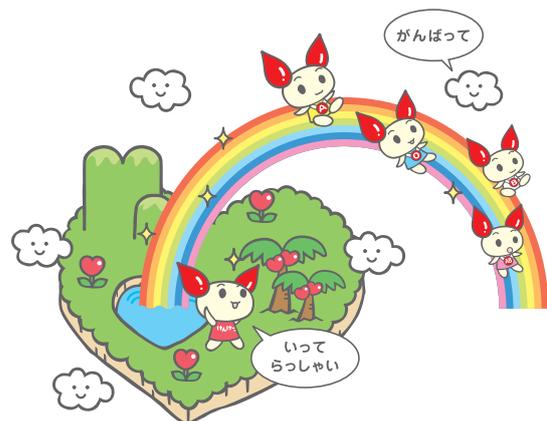


4) 大学生を対象としたセミナー

5月	鳥取看護大学	90名	内容：血液の現状、献血について
6月	県立農業大学校	42名	内容：血液の現状、献血について
10月	鳥取短期大学	110名	内容：血液の現状、献血、救急法について
1月	鳥取大学	40名	内容：血液の現状、献血について
	公立鳥取環境大学	10名	内容：学生ボランティアの活動と血液事業

5) 献血推進団体等を対象としたセミナー

4月	産業人材育成センター倉吉校	50名	内容：血液の現状と必要性について（講義）
	公立鳥取環境大学新入サークル部員研修	5名	内容：学生ボランティア活動と血液事業
5月	鳥取大学新入サークル部員研修	15名	内容：学生ボランティア活動と血液事業
6月	鳥取看護大学学生赤十字奉仕団	14名	内容：血液の現状と必要性について（講義）
	鳥取市医療看護専門学校	109名	内容：血液の現状と必要性について（講義）
2月	アフラック生命保険（株）鳥取支社	130名	内容：血液の現状と必要性について（講義）
3月	鳥取県医薬品配置協会	20名	内容：血液の現状と必要性について（講義）



11. 献血推進団体協力状況

各種献血推進団体のご支援を得て、多くの方々にご協力いただくことができました。

単位：人

団 体 名	献血者数
鳥取ライオンズクラブ	113
鳥取中央ライオンズクラブ	7
鳥取いなばライオンズクラブ	154
鳥取久松ライオンズクラブ	77
鳥取千代ライオンズクラブ	15
鳥取砂丘ライオンズクラブ	84
倉吉ライオンズクラブ	24
倉吉打吹ライオンズクラブ	24
倉吉北ライオンズクラブ	25
倉吉グレートライオンズクラブ	23
米子ライオンズクラブ	16
米子錦ライオンズクラブ	86
米子中央ライオンズクラブ	7
米子グレートサウスライオンズクラブ	3
米子城山ライオンズクラブ	22
西伯南ライオンズクラブ	72
境港ライオンズクラブ	21
境港美保ライオンズクラブ	21
曹洞宗鳥取県青年会	16
天理教鳥取教区	20
連合鳥取東部地域協議会	63
連合鳥取中部地域協議会	50
連合鳥取西部地域協議会	100
特推連因幡連絡会	111
生命保険協会鳥取県協会	118
米子商工会議所青年部	54
鳥取大学献血推進サークル「白うさぎ」	337
公立鳥取環境大学 献血サークル「鴛鴦」	149

合計	1,812
----	-------



生命保険協会 鳥取県協会



曹洞宗鳥取県青年会



12. 骨髄ドナー登録業務

骨髄バンクについて

平成3年12月、日本骨髄バンクが設立されました。骨髄バンク事業とは、骨髄移植推進財団、都道府県、日本赤十字社がそれぞれの役割分担に基づき実施される事業の総称です。骨髄移植推進財団では、普及啓発・提供者の募集、患者登録の受付、患者・提供者・医療機関のコーディネーション及び提供者の健康被害の補償を行います。各都道府県では、普及啓発・提供者の募集と保健所での提供者の募集を行っています。日本赤十字社では、厚生労働省の依頼を受け全国の血液センターで骨髄データセンター業務を行っています。平成14年度から地方行政主導による移動採血車での献血併行型登録を始めました。また、平成17年には、登録可能年齢や提供可能年齢が大幅に変更され、登録手続きも簡素化されパンフレットの内容をよく理解された方は、申込書を持参すれば登録が可能となりました。

骨髄移植を必要とする患者さんは、毎年2,000人と予測されています。少子化が進んでいる日本では、家族内で適合する提供が得られる患者さんは約4分の1程度であり、骨髄移植を受けられない方が多いのが現状です。

骨髄バンクは、広く一般の方々から提供者の登録を募り、移植までを結び付け患者さんを公平に救うことを目的としています。

提供登録者及び移植希望者登録者数並びに骨髄移植実施の状況は以下のとおりです。

集 計 内 容	人 数	
	全 国	鳥 取 県
1. 提供希望者登録現在数	509,263人	2,662人
2. 移植希望登録者数	2,139人	4人
3. 骨髄移植実施件数(累計)	23,002件	118件

※移植数には、海外提供者からの移植数が含まれています。

平成30年度 献血併行型登録会の実施状況

5月27日	鳥取県立倉吉未来中心	10月 7日	鳥取大学 風紋祭
6月10日	山郷地区公民館	10月21日	公立鳥取環境大学 環謝祭
6月10日	イオンモール鳥取北	10月24日	鳥取短期大学・鳥取看護大学
6月16日	イオンモール鳥取北	10月27日	鳥取大学医学部 錦祭
6月16日	とりぎんバードスタジアム	10月28日	鳥取県立倉吉未来中心
6月24日	鳥取県立倉吉未来中心	11月 2日	米子工業高等専門学校
7月15日	イオンモール鳥取北	11月25日	イオンモール日吉津
7月22日	イオンモール日吉津	12月16日	イオンモール鳥取北
7月29日	鳥取県立倉吉未来中心	2月24日	イオンモール鳥取北
8月26日	鳥取県立倉吉未来中心	3月 3日	イオンモール日吉津
9月30日	鳥取県立倉吉未来中心		

※鳥取県赤十字血液センター、献血ルームひえづにおいても開所日は随時登録受付を行っています。また、下記の施設でも登録受付を行っています。

鳥取市保健所：月曜日(祝日の場合は火)	15時40分～17時
倉吉保健所：水曜日(祝祭日の前日は除く)	13時～13時30分
米子保健所：火曜日(祝祭日の前日は除く)	13時15分～14時30分

13. 輸血用血液供給状況(県内供給)

単位:本

製 剤 別			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全血献血	全血製剤	1単位	0	0	0	0	0
		2単位	0	0	0	0	0
		合 計	0	0	0	0	0
	赤血球製剤	1単位	176	126	73	61	86
		2単位	15,562	15,645	15,906	14,802	14,235
		合 計	15,738	15,771	15,979	14,863	14,321
血漿製剤	120mL	15	23	30	5	1	
	240mL	3,873	3,545	3,466	3,632	2,857	
	480mL	222	503	546	374	169	
	合 計	4,110	4,071	4,042	4,011	3,027	
成分献血	血小板製剤	5単位	0	7	3	0	0
		10単位	4,129	4,269	4,746	4,832	4,582
		15単位	0	0	0	0	0
		20単位	0	0	0	2	0
		合 計	4,129	4,276	4,749	4,834	4,582
総合計(単位換算)			85,341.5	87,325.5	92,533.0	86,790.0	80,767.0

※ 血漿製剤は、平成29年度以降については、120mLを1単位、240mLを2単位、480mLを4単位で換算

全血製剤:供給実績なし

赤血球製剤:1単位は平成26年度に比べて半分に、2単位は平成28年度をピークに減少し続けており、平成30年度は、総供給量(単位換算)が過去5年間で最も少なかった。

血漿製剤:総供給量(単位換算)は減少の一途をたどり、平成30年度は平成26年度の73.6%であった。

血小板製剤:平成29年度まで増加傾向にあった総供給量(単位換算)が、減少に転じた。



照射赤血球液-LR-2



新鮮凍結血漿-LR-240



照射濃厚血小板-LR-10

14. 年度別血液製剤供給状況

単位換算

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
赤血球製剤	31,300	31,416	31,885	29,665	28,556
※ 血漿製剤	12,751.5	13,184.5	13,173.0	8,765.0	6,391.0
血小板製剤	41,290	42,725	47,475	48,360	45,820
合計	85,341.5	87,325.5	92,533.0	86,790.0	80,767.0

※血漿製剤は、施設基準変更により、平成29年度から1.5単位→1単位、3単位→2単位、5単位→4単位の単位換算で算出

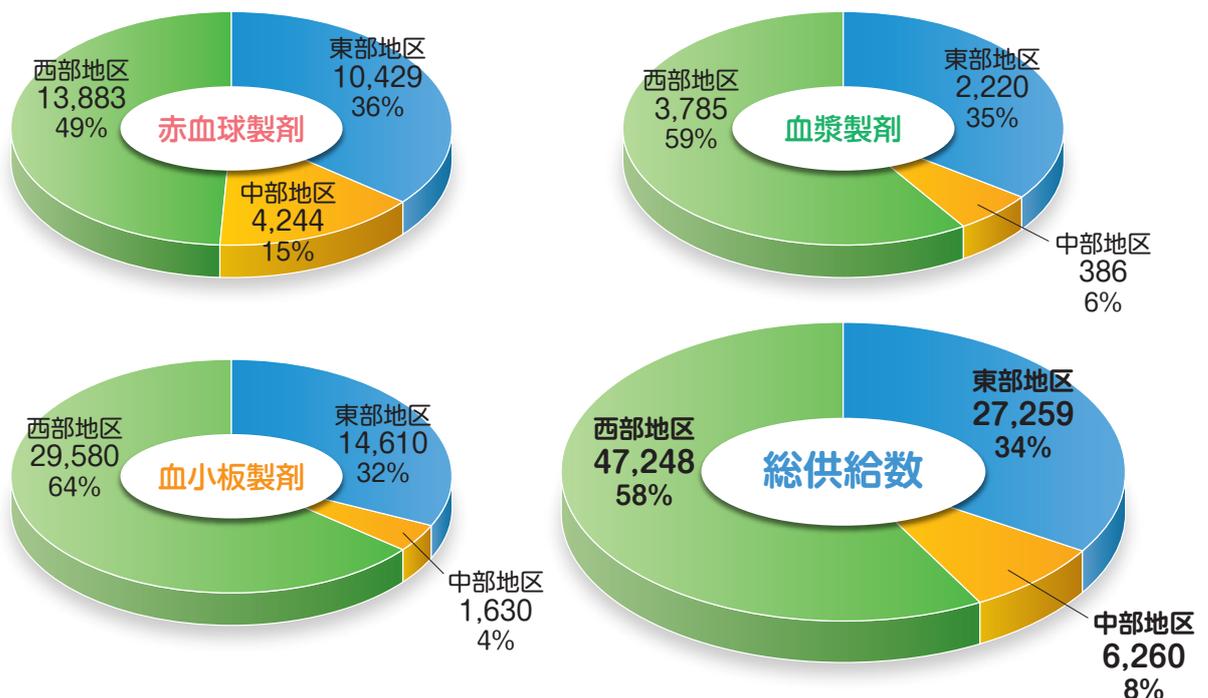
15. 平成30年度 輸血用血液製剤の月別供給状況(県内医療機関)

単位換算

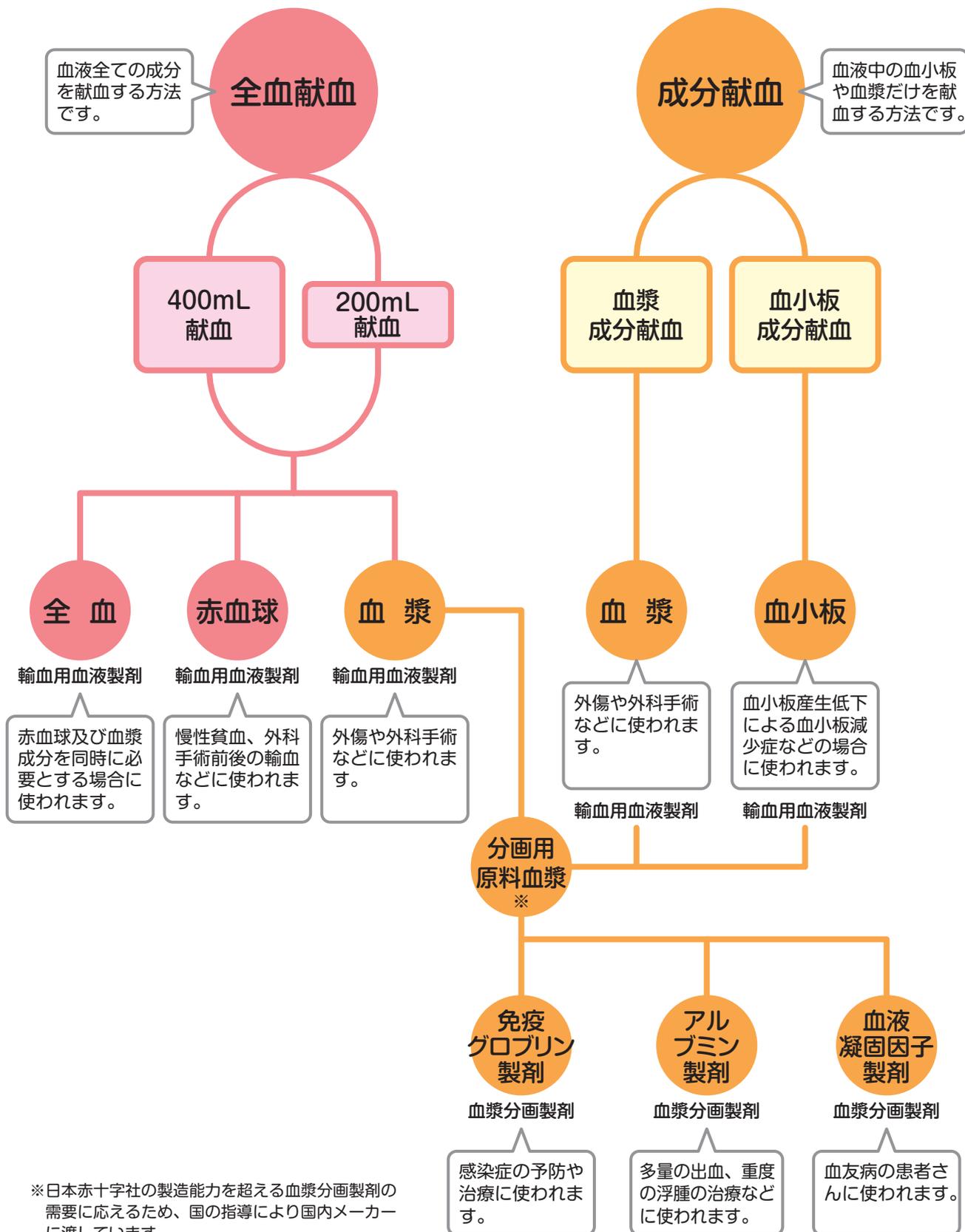
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
赤血球製剤	2,335	2,627	2,416	2,383	2,357	2,186	2,470	2,431	2,366	2,361	2,202	2,422	28,556	2,380
血漿製剤	643.0	840.0	466.0	484.0	558.0	362.0	546.0	358.0	366.0	766.0	462.0	540.0	6,391.0	532.6
血小板製剤	3,950	4,280	4,440	5,110	3,700	3,630	2,930	3,530	3,500	3,330	3,480	3,940	45,820	3,818
合計	6,928.0	7,747.0	7,322.0	7,977.0	6,615.0	6,178.0	5,946.0	6,319.0	6,232.0	6,457.0	6,144.0	6,902.0	80,767.0	6,730.6

16. 平成30年度 地域別血液製剤供給状況(県内供給)

供給量(単位換算)、供給比率(%)



17. 血液のゆくえ



18. 輸血用血液製剤一覧表

血液製剤の種類

●輸血用血液製剤の種類

輸血用血液には、「赤血球製剤」、「血漿製剤」、「血小板製剤」、「全血製剤」があります。

以前は採血されたままの血液、すなわち全ての成分を含んだ「全血製剤」の輸血が主流でしたが、現在は、血液を遠心分離し、血液を赤血球、血漿、血小板の3種類の成分に分け、患者さんが必要とする成分だけを輸血する「成分輸血」が主流となっています。

「成分輸血」は、患者さんにとって不必要な成分が輸血されないですむため、心臓や腎臓などへの負担が少なくて済みます。医療機関への供給は「赤血球製剤」、「血漿製剤」、「血小板製剤」でほぼ100%占めています。現在では「全血製剤」はほとんど使用されていません。

●初流血除去概要

採血時に皮膚常在菌が混入する可能性が高い穿刺直後の血液を別のバッグに採血し、その後の血液を本バッグに採血します。除去した初流血（約25mL）は検査用血液として使用します。初流血除去により、皮膚常在菌の混入が全く無くなるわけではありません。しかし皮膚常在菌の混入数を少なくする事で、有効期間内に皮膚常在菌が増殖し、臨床症状を引き起こす菌量にまで達する可能性を減らして安全性を高めることができます。

●輸血用血液製剤一覧表

赤血球製剤	<ul style="list-style-type: none"> ●保存温度 2~6℃ ●有効期間 採血後21日間 	<p>出血および赤血球が不足する状態、またはその機能低下による酸素欠乏のある場合に使用されます。</p>
血漿製剤	<ul style="list-style-type: none"> ●保存温度 -20℃以下 ●有効期間 採血後1年間 	<p>複数の血液凝固因子の欠乏による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。</p>
血小板製剤	<ul style="list-style-type: none"> ●保存温度 20~24℃ ●有効期間 採血後4日間 ●要振とう 	<p>血小板数の減少またはその機能低下による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。</p>
全血製剤	<ul style="list-style-type: none"> ●保存温度 2~6℃ ●有効期間 採血後21日間 	<p>大量出血などすべての成分が不足する状態で、赤血球と血漿の同時補給を要する場合に使用されます。</p>

※新鮮凍結血漿製剤は、2018年9月26日以降に「用法及び用量」の「融解後3時間以内に」の記載を削除し、「使用上の注意」に、「融解後は直ちに使用すること。直ちに使用できない場合は、2~6℃で保存し、融解後24時間以内に使用すること。」と変更されました。

19. 血液型について

ヒトの赤血球膜にはABO、Rh等400種余りの赤血球抗原が存在します。それぞれの抗原は、反応する特異的な抗体によって、凝集したり、溶血を起こすことがあります。また、白血球にも血液型が存在することが知られています。

ABO血液型

最もよく知られた赤血球の血液型で、A型の人はA型物質を持ち、B型の人はB型物質を持っています。AB型の人は両方の型物質を持ち、どちらも持っていないとO型になります。ABO血液型は赤血球以外にも多くの組織、細胞に存在します。

Rh血液型

ヒトの赤血球にアカゲザル(Rhesus Monkey)と共通の血液型抗原があることが発見され、最も強い抗原性である「D抗原」の有無によって区別する血液型をRh血液型としました。

Rh血液型は赤血球だけに存在し、D、C、c、E、eの5種類の抗原があります。このうち、D抗原を持たない人をRh(-)型といいます。

まれな血液型

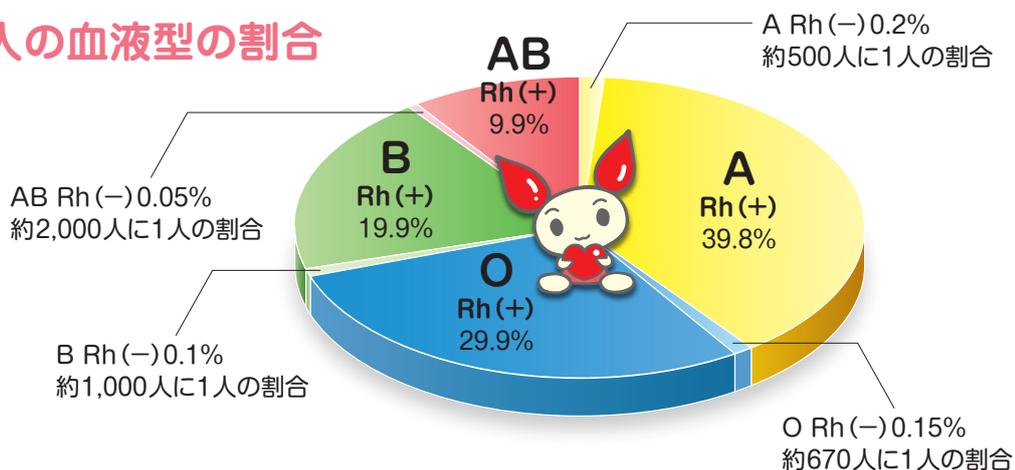
まれな血液型とは、100人に1人以下でしか見つからない血液型のことをいい、千人に1人、あるいは何万人に1人という血液型もあります。



HLA型

赤血球にABO血液型があるように、白血球にもHLA型という血液型があります。HLA型は、ヒト白血球抗原(Human Leukocyte Antigen)の略で、その重要性から主要組織適合性抗原とも言われており、大きく分けてHLA-A、B、C、DR、DQ、DPがあります。

日本人の血液型の割合



20. 学術活動

今年度の学術活動としては、引き続き「安全な輸血療法」を実施していただくために、輸血に関する情報提供、副作用の収集、説明会の実施を行いました。また、昨年度から各医療機関で開催されている院内輸血療法委員会へもオブザーバーとして参加し、「適正な輸血」を実施していただくための活動を行いました。

1) 副作用の収集 …………… 10件

副作用の種類	原因製剤	自発報告・その他
非溶血性副作用	赤血球	自発報告
非溶血性副作用	赤血球	自発報告
HBV感染疑い	赤血球・血小板 新鮮凍結血漿	自発報告
非溶血性副作用	新鮮凍結血漿・血小板	自発報告
非溶血性副作用	新鮮凍結血漿・血小板	自発報告
細菌感染疑い	血小板	自発報告
非溶血性副作用	新鮮凍結血漿・血小板	自発報告
非溶血性副作用	赤血球	自発報告
非溶血性副作用	血小板	自発報告
非溶血性副作用	新鮮凍結血漿	自発報告

細菌汚染の疑いにおける当該製剤は「陽性」でした。
 非溶血性副作用は、全て原因を特定する事はできませんでした。
 HBV感染疑いは献血者の抗体陽転化を認めていません。

2) 各医療機関からの要請による説明会…………… 3件

看護師対象の「血液製剤の取扱い」について
 全職員対象の「血液製剤」について
 臨床検査技師対象の「輸血副作用」について

3) 院内の輸血療法委員会への参加

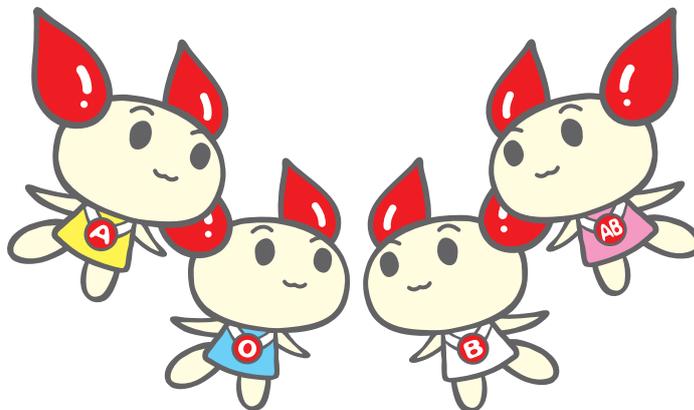
院内輸血療法委員会で赤十字のMRの参加が認められた施設は下記のとおり
 ただし、施設によっては、条件付き参加となる。

	病床数	開催頻度	出席回数
A病院	300床以上	1回／月	6回
B病院	300床以上	1回／月	10回
C病院	300床以上	1回／2ヶ月	6回
D病院	300床未満	1回／2ヶ月	3回

21. 鳥取県赤十字血液センターの沿革

- 昭和40年 1月 鳥取市尚徳町117(鳥取赤十字病院内)に鳥取県赤十字血液センター開設
(昭和29年から鳥取赤十字病院に院内血液銀行が設置されていたもの)
- 昭和40年 1月 日本赤十字社鳥取県支部に中型移動採血車導入
愛称「いずみ号」と決定(全額国庫補助)
- 昭和41年 9月 米子市西町36-1(鳥取大学医学部附属病院内)に鳥取県赤十字血液センター西部出張所開設
(県費補助)
- 昭和41年12月 倉吉市下田中343(鳥取県立厚生病院内)に鳥取県赤十字血液センター中部出張所開設
(県費補助)
- 昭和42年 3月 鳥取市尚徳町117(鳥取赤十字病院敷地内)に鳥取県赤十字血液センター新築整備
- 昭和42年11月 日本青年会議所から日本赤十字社鳥取県支部に血液輸送車寄贈
- 昭和43年11月 中型移動採血車「いずみ号」購入(国庫及び県費補助)
- 昭和47年 3月 財団法人日本宝くじ協会から移動採血車「宝くじ号」寄贈
- 昭和47年12月 鳥取県赤十字血液センター増築、検査設備(無菌室等)を充実
- 昭和49年 3月 移動採血車「第二いずみ号」購入(日赤本社及び県費補助)
- 昭和50年10月 鳥取県赤十字血液センター血液検査設備(自動分析機-6項目)の整備(県費補助)
- 昭和53年 6月 中型移動採血車「第一いずみ号」購入(日赤本社及び県費補助)
- 昭和53年 7月 鳥取中央ライオンズクラブから献血者送迎兼広報車寄贈
鳥取ヤクルト販売から血液輸送車寄贈
- 昭和53年 9月 鳥取県赤十字血液センター中部出張所廃止(移動採血車に代替)
- 昭和55年12月 中型移動採血車「いずみ号」購入(日赤本社及び県費補助)
- 昭和56年 5月 鳥取県江津370番地に鳥取県赤十字血液センター新築移転(敷地面積2,428㎡ 延べ建物
面積約1,200㎡) (日赤本社、県費及び市町村補助)
- 昭和56年12月 日本石油から献血輸送車「セフティー号」寄贈
- 昭和57年11月 日本石油から献血輸送車「セフティー号」寄贈
- 昭和58年 4月 鳥取県赤十字血液センター西部出張所採血室の改造
- 昭和58年12月 日産自動車から血液輸送車「日産号」寄贈
- 昭和59年 1月 日本石油から中型採血車寄贈
- 昭和60年 7月 財団法人日本宝くじ協会から移動採血車「宝くじ号」寄贈
- 昭和63年 3月 鳥取県赤十字血液センター湖山出張所「献血ルーム湖山」開設
- 平成 元年10月 財団法人日本宝くじ協会から移動採血車「宝くじ号」寄贈
- 平成 3年 7月 鳥取県赤十字血液センター湖山出張所「献血ルーム湖山」閉鎖
- 平成 3年 8月 成分採血車「いずみ号」購入(日赤本社及び県費補助)
- 平成 4年 4月 血液製剤の医療機関への供給を血液センター直配方式に変更し供給開始
- 平成 4年10月 財団法人日本宝くじ協会から移動採血車「宝くじ号」寄贈
- 平成 7年12月 財団法人日本宝くじ協会から移動採血車「宝くじ号」寄贈
- 平成 8年 2月 鳥取県赤十字血液センター西部出張所移転(鳥取大学医学部診療棟内)
- 平成 8年12月 財団法人日本宝くじ協会から移動採血車「宝くじ号」寄贈
- 平成11年 2月 オープン型成分採血車新設
- 平成13年 3月 財団法人日本宝くじ協会から移動採血車「宝くじ号」寄贈
- 平成15年 7月 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が施行
- 平成17年 4月 倉吉市駄経寺町212-5「倉吉未来中心」で毎月最終日曜日定期的に献血を開始

-
- 平成 17年 5月 検査業務を岡山県赤十字血液センターに委託
 - 平成 17年 11月 鳥取県赤十字血液センター西部出張所移転(鳥取大学医学部保健学科棟内)
 - 平成 18年 3月 財団法人日本宝くじ協会から移動採血車「宝くじ号」寄贈
 - 平成 18年 10月 献血カード導入
 - 平成 20年 5月 製剤業務を岡山県赤十字血液センターに委託
 - 平成 20年 8月 鳥取県赤十字血液センター西部出張所移転(鳥取大学医学部附属病院看護師寄宿舍内)
 - 平成 21年 3月 血液センター内を27年振りに大改造し、特に献血部門と外壁をリニューアルする
 - 平成 21年 10月 鳥取県赤十字血液センター日吉津出張所「献血ルームひえづ」開設
鳥取県赤十字血液センター西部出張所の名称を同血液センター米子出張所に改める
 - 平成 21年 12月 鳥取県赤十字血液センター米子出張所移転(鳥取大学医学部附属病院第二診療棟内)
 - 平成 22年 1月 中型移動採血車(新デザイン)購入
 - 平成 23年 12月 車庫の大改修及び書庫の整備
 - 平成 24年 4月 広域事業運営体制へ移行される
 - 平成 26年 6月 血液事業情報システム導入
 - 平成 29年 2月 非常用発電機の更新整備
 - 平成 30年 12月 輸血用血液製剤の鳥取県立厚生病院における備蓄の廃止



22. 平成30年度 献血協力団体・献血協力者数一覧

鳥取保健所管内

鳥取市

事業所名	配車回数	200mL	400mL
NTT西日本鳥取支店(寺町)	2	0	28
NTT西日本鳥取支店(湯所)	2	0	33
イオン鳥取店	1	0	45
イオンモール鳥取北	13	0	532
一般財団法人日本きのごセンター	1	0	7
いなばエコ・リサイクルセンター	1	0	5
因幡環境整備株式会社	1	0	14
イナバゴム株式会社鳥取工場	2	0	36
医療法人社団 尾崎病院	1	0	11
エプソンリペア株式会社鳥取修理センター	2	0	27
オリイ精機株式会社	1	0	10
老人保健施設はまゆう	1	0	10
学校法人鶏鳴学園青翔開智 中学校・高等学校	1	1	23
株式会社JCBエクス JCB鳥取ソリューションセンター	1	0	16
株式会社イト鳥取工場	1	0	10
株式会社ぎしき	1	0	12
株式会社興洋工務店	1	0	20
株式会社山陰合同銀行鳥取営業部	1	0	14
株式会社サンキ鳥取支店	1	0	10
株式会社清水	1	0	15
株式会社ジャパンディスプレイ鳥取工場	3	0	147
株式会社新日本海新聞社	1	0	13
株式会社ソルコム鳥取支店	1	0	9
株式会社鳥取銀行本店	1	0	22
株式会社鳥取メカシステム	1	0	15
株式会社正光	1	0	9
株式会社マルカン鳥取工場	2	0	19
株式会社ヤマト鳥取支店	1	0	8
株式会社吉谷機械製作所	1	0	16
株式会社ワールドウィングエンタープライズ	1	0	11
協同組合鳥取卸センター	1	0	21
公益財団法人鳥取県産業振興機構	2	0	15
公益財団法人鳥取市環境事業公社	4	0	72

事業所名	配車回数	200mL	400mL
公立大学法人 公立鳥取環境大学	5	3	149
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 鳥取支店	1	0	9
国立大学法人鳥取大学鳥取キャンパス	7	0	337
鳥取県東部広域行政管理組合湖山消防署	1	0	15
鳥取市総合福祉センターさざんか会館	1	0	9
山陰パナソニック株式会社鳥取家電営業所	1	0	9
サンイン技術コンサルタント株式会社鳥取支店	1	0	9
三洋テクノソリューションズ鳥取株式会社	3	0	69
サンライズ工業株式会社	1	0	8
社会医療法人明和会医療福祉センター ウエルフェア北園渡辺病院	2	0	15
社会医療法人明和会医療福祉センター渡辺病院	1	0	10
社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会	2	0	13
聖和精機株式会社本社鳥取工場	1	0	10
積水ハウス株式会社山陰支店鳥取オフィス	1	0	18
全国農業協同組合連合会五反田事務所	1	0	9
全国農業協同組合連合会鳥取県本部	1	0	10
大山日ノ丸証券株式会社鳥取本店	1	0	9
大東建託株式会社鳥取支店	1	0	10
大同端子製造株式会社本社・工場	2	0	20
ダイヘン産業機器株式会社	1	0	26
中国電力株式会社鳥取支社	2	0	49
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構鳥取支部 鳥取職業能力開発促進センターポリテクセンター鳥取	2	0	11
鳥取いなば農業協同組合本店	2	0	24
鳥取医療生活協同組合鹿野温泉病院	1	0	12
鳥取海上保安署	1	0	10
鳥取ガス株式会社	2	0	23
鳥取県鳥取空港管理事務所	1	0	13
鳥取県鳥取警察署	2	0	56
鳥取県刑務所	1	0	7
鳥取県警察学校	2	0	67
鳥取県浜村警察署	1	0	13
鳥取県警察本部	3	0	135
鳥取県信用保証協会本所	2	0	26
鳥取県庁	2	0	138
鳥取県東部広域行政管理組合消防局	2	0	24
鳥取県東部庁舎	2	0	44

事業所名	配車回数	200mL	400mL
鳥取県立歯科衛生専門学校	2	0	22
鳥取市水道局	2	0	19
鳥取市役所青谷町総合支所	1	0	16
鳥取市役所駅南庁舎	2	0	55
鳥取市役所河原町総合支所	1	0	10
鳥取市役所国府町総合支所	1	0	6
鳥取市役所佐治町総合支所	1	0	11
鳥取市役所福部町総合支所	1	0	13
鳥取市役所本庁舎	2	0	61
鳥取市役所用瀬町総合支所	1	0	2
鳥取商工会議所	2	0	17
鳥取市立気高町コミュニティセンター	1	0	13
鳥取市立病院	1	0	18
鳥取信用金庫本店	1	0	16
鳥取第1地方合同庁舎	1	0	12
鳥取大丸	1	0	7
鳥取地方気象台	2	0	10
鳥取地方検察庁	2	0	25
鳥取トヨタ自動車株式会社鳥取店	1	0	9
鳥取トヨペット株式会社鳥取店	1	0	13
とりぎんバードスタジアム	1	0	30
日本海テレビジョン放送株式会社	1	0	7
日本交通株式会社鳥取本社	1	0	6
日立フェライト電子株式会社	3	0	64
日ノ丸産業株式会社鳥取支店	1	0	9
日ノ丸自動車株式会社本店	1	0	10
マルサンアイ鳥取株式会社	1	0	6
安田精工株式会社	2	0	26
やまこう建設株式会社	1	0	10
吉田建設株式会社	1	0	7
リコーITソリューションズ株式会社 鳥取事業所	2	0	29
リコーインダストリアルソリューションズ 株式会社鳥取事業所	2	0	55
社会福祉法人こうほうえん 老人保健施設いなば幸朋苑	1	0	9
鳥取市合計	164	4	3,294

岩美町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
FDK株式会社鳥取工場	2	0	86

事業所名	配車回数	200mL	400mL
アイエム電子株式会社岩美工場	1	0	5
岩美町国民健康保険岩美病院	2	0	35
岩美町役場	2	0	43
鳥取いなば農業協同組合岩美支店	2	0	14
岩美町合計	9	0	183

八頭町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
社会福祉法人やす介護老人保健施設 すこやか	1	0	15
社会福祉法人やす特別養護老人ホーム すこやか	1	0	13
鳥取県郡家警察署	2	0	28
鳥取県八頭庁舎	2	0	34
八頭町船岡地区公民館	1	0	9
八頭町役場	1	0	19
八頭町役場八東庁舎	1	0	7
八頭町合計	9	0	125

若桜町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
若桜町地域福祉センター・ドリーミー	1	0	8
若桜町役場	2	0	33
若桜町合計	3	0	41

智頭町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
智頭町総合センター	2	0	39
智頭町保健・医療・福祉総合センター 「ほのほの」	1	0	13
鳥取県立智頭農林高等学校	1	0	12
智頭町山郷地区公民館	1	0	31
智頭町合計	5	0	95

鳥取保健所管内合計	190	4	3,738
------------------	------------	----------	--------------

倉吉保健所管内

倉吉市

事業所名	配車回数	200mL	400mL
医療福祉センター倉吉病院	1	0	19
医療法人(財団)共済会清水病院	1	0	9

事業所名	配車回数	200mL	400mL
医療法人至誠会介護老人施設ひまわり	1	0	13
医療法人清和会垣田病院	1	0	11
医療法人十字会野島病院	1	0	14
尾池工業株式会社生産本部倉吉事業場	2	0	34
オムロンスイッチアンドデバイス株式会社倉吉事業所	1	0	15
学校法人藤田学園鳥取看護大学	1	2	7
学校法人藤田学園鳥取短期大学	1	2	17
株式会社日圧スーパーテクノロジーズ西倉吉工場	1	0	9
株式会社ホテルセントパレス倉吉	2	0	35
株式会社明治製作所	2	0	34
倉吉消防署	1	0	9
倉吉市役所	2	0	72
倉吉未来中心	9	0	358
産業人材育成センター倉吉校	2	0	25
新日本海新聞社中部本社	1	0	14
中国電力株式会社倉吉電力所	1	0	12
鳥取県倉吉警察署	1	0	19
鳥取県中部総合事務所	2	0	58
鳥取県立倉吉農業高等学校	1	3	25
鳥取県立倉吉養護学校	1	0	11
鳥取県立厚生病院	2	0	40
鳥取県立農業大学校	1	0	18
鳥取中央農業協同組合本所	1	0	14
鳥取中央農業協同組合中央営農センター	1	0	14
鳥取中部ふるさと広域連合消防局	1	0	9
西谷技術コンサルタント株式会社	1	0	3
日本圧着端子製造株式会社倉吉工場	1	0	10
倉吉市合計	44	7	928

湯梨浜町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
勝美印刷株式会社鳥取支店	1	0	7
株式会社東郷電機製作所	1	0	5
社会福祉法人敬仁会ル・サンテリオン東郷	1	0	7
中部地区運転免許センター	1	0	6
鳥取県環境衛生研究所	1	0	11
鳥取県栽培漁業センター	1	0	6
鳥取県天神川流域下水道公社	1	0	8

事業所名	配車回数	200mL	400mL
鳥取中部ふるさと広域連合湯梨浜消防署	1	0	4
湯梨浜町中央公民館	1	0	10
湯梨浜町役場羽合合同庁舎	3	0	67
湯梨浜町合計	12	0	131

三朝町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
株式会社三朝製作所	1	0	6
社会福祉法人福生会三朝温泉三喜苑	1	0	9
社会福祉法人三朝町社会福祉協議会	1	0	4
鳥取県中部医師会立三朝温泉病院	1	0	15
鳥取中央農業協同組合三朝支所	2	0	7
三朝町役場	2	0	43
三朝町合計	8	0	84

北栄町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
株式会社新木コーポレーション	1	0	6
株式会社寺方工作所	1	0	3
株式会社鳥取県倉吉自動車学校	1	0	8
社会福祉法人敬仁会ル・サンテリオン北条	2	0	19
鳥取中央農業協同組合北条支所	1	0	3
鳥取中部ふるさと広域連合	2	0	21
北栄町役場大栄庁舎	3	0	72
北栄町合計	11	0	132

琴浦町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
馬野建設株式会社	1	0	14
株式会社井木組	1	0	16
株式会社高野組	2	0	21
琴浦大山警察署	2	0	24
琴浦町生涯学習センターまなびタウンとうはく	1	0	11
琴浦町役場	2	0	28
琴浦町役場赤崎分庁舎	2	0	25
大山乳業農業協同組合	1	0	5
宝製菓株式会社	1	0	6
東伯ガス産業株式会社	1	0	4
鳥取県畜産試験場	1	0	5

事業所名	配車回数	200mL	400mL
鳥取中央農業協同組合東伯支所	1	0	12
鳥取中央有線放送株式会社	1	0	13
鳥取部品株式会社	1	0	5
百寿苑	1	0	10
福助株式会社	1	0	10
琴浦町合計	20	0	209
倉吉保健所管内	95	7	1,484

米子保健所管内

米子市

事業所名	配車回数	200mL	400mL
ANAクラウンプラザホテル米子	1	0	10
イオン米子駅前店	1	0	100
医療法人育生会高島病院	1	0	15
医療法人同愛会博愛病院	1	0	12
王子製紙株式会社米子工場	2	0	162
花王ロジスティクス株式会社 米子ロジスティクスセンター	1	0	11
学校法人翔英学園米子北高等学校	1	0	44
学校法人米子永島学園米子松蔭高等学校	1	0	16
株式会社エース・プラン	2	0	31
株式会社エバルス米子支店	1	0	15
株式会社エルフィス	1	0	16
株式会社ケイズ	3	0	68
株式会社ゴール米子工場	1	0	20
株式会社サンキ米子支店	1	0	9
株式会社中海テレビ放送	1	0	12
株式会社鶴見製作所米子工場	1	0	16
協同組合米子市総合卸センター	1	0	14
国立大学法人鳥取大学米子キャンパス	1	4	50
国立米子工業高等専門学校	2	0	127
寿製菓株式会社浦津工場	2	0	23
山陰酸素工業株式会社本社	3	0	50
シャープ米子株式会社	2	0	34
社会福祉法人こうほうえん老人保健施設 なんぶ幸福苑	1	0	10
シンワ技研コンサルタント株式会社	2	0	21

事業所名	配車回数	200mL	400mL
西部広域行政管理組合消防局	1	0	13
大山ハム株式会社	2	0	34
大和ハウス工業株式会社山陰支店	1	0	13
中国電力株式会社米子営業所	2	0	51
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構鳥取支所鳥取職業 能力開発促進センター米子訓練センターポリテクセンター米子	2	0	36
独立行政法人国立病院機構米子医療センター	2	0	24
独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院	2	0	56
鳥取県消防学校	1	0	24
鳥取県西部総合事務所	2	0	28
鳥取県西部総合事務所福祉保健局	1	0	7
鳥取県農業共済組合西部支所	1	0	10
鳥取県米子警察署	3	0	103
鳥取県立皆生養護学校	1	0	11
鳥取県立産業人材育成センター米子校	2	0	23
鳥取県立米子高等学校	1	0	16
鳥取西部農業協同組合本所	1	0	12
鳥取大学医学部附属病院	1	0	14
鳥取日産自動車販売株式会社米子営業所	2	0	18
西日本旅客鉄道米子支社	2	0	41
ネットトヨタ鳥取株式会社米子日野橋店	1	0	13
パーソルパナソニックファクトリーパートナーズ 株式会社米子ファクトリーセンター	2	0	74
日ノ丸自動車株式会社米子支店	2	0	26
美保テクノス株式会社・ サンイン技術コンサルタント株式会社	2	0	33
八幡物産株式会社	1	0	10
有限会社大成商事	1	0	11
米子瓦斯株式会社	2	0	57
米子機工株式会社	2	0	25
米子市下水道部	2	0	19
米子市水道局	2	0	35
米子市役所	3	0	181
米子商工会議所	1	0	54
米子市立住吉小学校	1	0	57
米子信用金庫	2	0	31
米子製鋼株式会社	2	0	29
米子地方合同庁舎	2	0	26
陸上自衛隊自動車教習所	2	0	48
陸上自衛隊米子駐屯地	2	0	132
米子市合計	96	4	2,281

日吉津村

事業所名	配車回数	200mL	400mL
日吉津村役場	2	0	21
日吉津村合計	2	0	21

境港市

事業所名	配車回数	200mL	400mL
上野水産株式会社	1	0	14
株式会社山陰アシックス工業	2	0	58
航空自衛隊美保基地	3	0	148
航空自衛隊美保通信所	3	0	87
境港市保健相談センター	2	0	31
境港商工会議所	1	0	42
境港湾合同庁舎・国土交通省中国地方整備局境港湾空港整備事務所	2	0	19
社会福祉法人恩賜財団済生会支部鳥取県済生会境港総合病院	2	0	31
鳥取県境港警察署	2	0	21
鳥取県西部広域行政管理組合境港消防署	2	0	17
フジッコフーズ株式会社	1	0	9
ユタカフーズ株式会社鳥取工場	1	0	4
境港市合計	22	0	481

大山町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
医療法人佐々木医院介護老人保健施設はまなす	2	0	17
医療法人社団キマチ外科・整形外科医院介護老人保健施設サンライズ名和	2	0	25
株式会社片木アルミニウム製作所	2	0	31
サングレス株式会社	2	0	16
社会福祉法人慶愛会大山やすらぎの里	1	0	9
大山町名和公民館	2	0	39
大山町役場中山支所	2	0	28
鳥取西部農業協同組合大山口支所	2	0	16
大山町合計	15	0	181

南部町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
NOK株式会社鳥取事業所	2	0	71
鳥取グリコ株式会社	1	0	7
南部町国民健康保険西伯病院	2	0	27
南部町役場天萬庁舎	1	0	8
南部町役場法勝寺庁舎	2	0	50
南部町合計	8	0	163

伯耆町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
医療法人社団昌平会 大山リハビリテーション病院	2	0	20
大和リゾート株式会社ロイヤルホテル大山	1	0	7
伯耆町岸本保健福祉センター	2	0	14
伯耆町役場	2	0	28
伯耆町役場溝口分庁舎	1	0	8
伯耆町合計	8	0	77

江府町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
江府町防災情報センター	1	0	27
サントリープロダクツ株式会社 奥大山ブナの森工場	1	0	15
江府町合計	2	0	42

日野町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
西部総合事務所日野振興センター	1	0	10
鳥取県黒坂警察署	1	0	10
日野町役場	1	0	17
日野町合計	3	0	37

日南町

事業所名	配車回数	200mL	400mL
日南町役場健康福祉センターほほえみの里	1	0	13
日南町立日南中学校	1	0	7
日野町役場	1	0	21
日南町合計	3	0	41

米子保健所管内合計	159	4	3,324
------------------	------------	----------	--------------



23. 献血推進功労団体等に対する感謝状贈呈

例年、献血推進に関して積極的に協力いただいた団体に日本赤十字社鳥取県支部長(知事)より感謝状を贈呈しており、平成30年度は5団体に贈呈いたしました。

期日	平成30年7月24日(火)	団体	鳥取県医薬品配置協会
場所	鳥取県庁3階第4応接室		米子瓦斯株式会社 アイエム電子株式会社 岩美工場 赤碕福祉会介護老人福祉施設 百寿苑 花王ロジスティクス株式会社 米子ロジスティクスセンター

献血運動推進協力団体に対する知事感謝状贈呈

日本赤十字社鳥取県支部長感謝状を受賞後、長年にわたり献血運動の推進にご協力いただいた6団体に鳥取県知事感謝状が贈呈されました。

期日	平成30年7月24日(火)	団体	鳥取信用金庫
場所	鳥取県庁3階第4応接室		鳥取瓦斯株式会社 医療法人育生会 高島病院 宝製菓株式会社 ティーエスアルフレッサ株式会社 米子支店 フジッコ株式会社 境港工場

厚生労働大臣感謝状贈呈

知事感謝状を受賞後、10年以上の長きにわたり献血運動の推進にご協力いただいた4団体に厚生労働大臣感謝状が贈呈されました。

期日	平成30年7月24日(火)	団体	鳥取砂丘ライオンズクラブ
場所	鳥取県庁3階第4応接室		馬野建設株式会社 医療法人友絃会 皆生温泉病院 鳥取トヨタ自動車株式会社 米子東店

厚生労働大臣表彰贈呈

厚生労働大臣感謝状を受賞後、長年にわたり献血運動の推進にご協力いただいた1団体に厚生労働大臣表彰が贈呈されました。

期日	平成30年7月24日(火)	団体	鳥取県済生会境港総合病院
場所	鳥取県庁3階第4応接室		



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

鳥取県赤十字血液センター 理 念

人道・博愛・奉仕の赤十字精神に基づき、
安全な血液製剤の安定供給に努め、
地域医療に貢献します。

基本方針

1. 行政、献血推進団体等と連携し、博愛の精神に基づいた献血推進により、献血者の確保に努めます。
2. 献血者の善意に感謝し、採血時の安全確保に努めます。
3. 常に自己研鑽に励み、より安全な血液製剤の安定的な供給に努めます。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society